

**事務局**

**【ILSI Japan 総会】**

1, 2 月	<p>平成 25 年度通常総会が 2 月 19 日 (火) 10:00 より 東京都中央区八重洲 2-2-1 ダイヤ八重洲口ビル 3 階で開催されました。</p> <p>○審議の経過の概要及び議決の結果</p> <p>第 1 号議案 平成 24 年度事業活動報告書案承認の件 山口隆司事務局長が議案 1 資料「平成 24 年度事業活動報告書案」に基づき事業報告を行い、採決に入り、満場一致をもって本件は可決承認された。</p> <p>第 2 号議案 平成 24 年度決算報告書案承認の件 内田博事務局次長から議案 2 資料「平成 24 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録、及び収益事業損益計算書」に基づき、決算報告があり、伊藤建比古監事が監査報告を行い、採決を行った結果、満場一致をもって本件は可決承認された。</p> <p>第 3 号議案 平成 25 年度事業活動計画書案承認の件 山口事務局長より議案 3 資料「平成 25 年度事業活動計画書案」に基づき事業計画の内容が説明され、採決に入り、満場一致をもって本件は可決承認された。</p> <p>第 4 号議案 平成 25 年度収支予算書案承認の件 内田事務局次長が議案 4 資料「平成 25 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支予算書案」に基づいて予算案の内容を説明し、採決を行った結果、満場一致をもって本案は可決承認された。</p> <p>○報告事項 山口事務局長より下記事項について報告が行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ILSI 本部総会報告</li> <li>2. 最新栄養学</li> </ol>
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

**【事務局】**

1, 2 月	
3, 4 月	<p>○平成 25 年 3 月監督官庁である東京都知事（生活文化局都民生活部管理法人課）に平成 24 年度、第 12 期事業報告書等（下記）を提出しました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業報告書</li> <li>2. 収支報告書</li> <li>3. 貸借対照表</li> <li>4. 財産目録 等</li> </ol> <p>○事務局次長 石原 隆氏は 4 月 30 日付をもって退職されました。 長期間に亘り ILSI Japan 事務局を支えて頂き深く感謝いたします。</p>
5, 6 月	<p>平成 25 年 6 月 1 日付にて平川 忠氏が事務局次長として就任されました。 平川氏は味の素株式会社で主として基礎研究、医薬関連、品質保証分野を担当し、その後バイオインダストリー協会、日本食品添加物協会等を経験され豊富な経験・知識</p>

	により ILSI Japan の発展に貢献されることが期待されています。
7, 8 月	平成 25 年 9 月 1 日付にて倉井 真氏が事務局次長として就任されました。 倉井氏はサントリーホールディングス株式会社で主として酒類営業部門、健康食品セサミンの事業化、研究企画部門等を担当し、豊富な経験・知識により ILSI Japan の発展に貢献されることが期待されています。
9, 10 月	特になし
11, 12 月	

## 【理事会】

1, 2 月	<p>平成 25 年度第 1 回理事会が 2 月 6 日（水）に開催されました。</p> <p>○審議の経過の概要及び議決の結果</p> <p>第 1 号議案 平成 24 年度事業報告書承認の件 山口事務局長から第 1 号議案資料「平成 24 年度事業活動報告書（案）」に基づき事業活動報告を行い、質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 2 号議案 平成 24 年度決算報告書承認の件 内田事務局次長から第 2 号議案資料「平成 24 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録、及び収益事業損益計算書」に基づき決算報告書の説明を行った。</p> <p>引続き辻監事より監事 2 名を代表して事業活動報告書・財務諸表に関して監査の結果、誤りがなく正確に処理され適正妥当と認めるとの監事監査報告が行われた。</p> <p>質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 3 号議案 平成 25 年度事業活動計画書承認の件 山口事務局長から議案第 3 号資料「平成 25 年度事業活動計画書（案）」に基づき、事業活動計画書の内容を説明した。</p> <p>質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 4 号議案 平成 25 年度収支予算書承認の件 内田事務局次長から第 4 号議案資料「平成 25 年度収支予算書案」に基づいて収支予算書の内容を説明した。</p> <p>質疑の後、採決に入り満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>○報告事項</p> <p>山口事務局長よりそれぞれの事項が資料に基づき報告された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本部総会の報告</li> <li>2. 「研究部会活性化に向けた討論会」開催について</li> <li>3. 「インド、バングラデシュ、ネパール、スリランカにおける食品及び食品添加物の法的枠組みと事例研究の国際会議」開催の報告</li> </ol>
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	<p>平成 25 年度第 2 回理事会が平成 25 年 7 月 31 日（水）午前 10:00-11:30 ILSI Japan 会議室で行われました。</p> <p>1. 審議事項及び審議の経過の概要</p> <p>■議案 1. 理事選任について 山口事務局長より、徳留信寛理事の辞任に伴い新たに古野純典氏（独立行政法人国立健康・栄養研究所理事長）を理事に選任したいとの提案があり、審議の結果、異議なく承認された。</p> <p>■議案 2. 科学諮問委員会（SAC）設置について 山口事務局長より科学諮問委員会（SAC）設置につき提案し、審議の結果、異議なく承認された。</p> <p>概要は以下の通り</p> <p>◎科学諮問委員会（SAC）の役割 SAC に期待するミッション</p>

	<p>新たな潮流の把握</p> <p>1) これからの科学問題に焦点を当て、ILSI として取り扱うべきテーマを選択する。</p> <p>2) SAC が年に一度、国際的な視点も入れ、長期テーマ案を作成し、理事会に諮問する。</p> <p>概略イメージ</p> <p>頻度：年 2 回開催</p> <p>メンバー構成：</p> <p>(アカデミア) 現役に近い。次期理事候補も視野。</p> <p>地域性も考慮</p> <p>(インダストリー) 研究戦略、研究企画部門の部長クラス／理事会社の協力但し、事務局 WG が 企業メンバーのニーズ、科学の流れを考慮し、広範囲の候補研究テーマをピックアップし、ポイントを整理した後、SAC に提案する。</p> <p>現存研究部会テーマとの重複・兼ね合いについては、事務局 WG で判断する。研究部会長を中心としたメンバー構成。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) ILSI 本部活動紹介／ILSI 本部会長</p> <p>山口事務局長より、ILSI 本部 Jerry Hjelle 会長から ILSI 本部活動につき、戦略的目標・主要 4 領域・戦略計画移行チーム等について紹介あった旨、報告があった。</p> <p>2) 「最新栄養学」第 10 版出版について</p> <p>山口事務局長より、別紙資料に基づき「最新栄養学」第 10 版の翻訳者が決定し、順調に出版に向けて進んでいるとの報告があった。</p> <p>3) 東京大学-ILSI Japan 寄附講座第Ⅲ期について</p> <p>山口事務局長より、第Ⅲ期東京大学-ILSI Japan 寄附講座「機能性食品ゲノミクス」を開設し参加者募集するとの紹介があった。</p> <p>第Ⅲ期においては、第Ⅰ、Ⅱ期からの飛躍を目指し、新しいゲノミクス・エピジェネティクスの研究を推進する。同時に、これからの高齢化社会に起因する生活習慣病にも目を向けるとともに、人々の生活の質 (QOL) の向上に貢献すべく、健全 (wholesome) な食品の科学・技術を樹立する研究機関として活動を継続して行く予定。具体的な研究相談については東京大学 阿部、中井両先生が個別に対応する用意がある。</p> <p>4) ILSI 台湾設立総会</p> <p>西山理事長より ILSI 台湾の設立総会が 7 月 28 日にあり、招待され参加したとの報告があった。来賓として招待されたのは ILSI Japan と ILSI SEAR、総会の参加者は台湾の副総理・厚生省大臣 (日本で相当する省) ・副大臣等大物が多数参加していた。</p> <p>会長は台湾大学終身特別名誉教授、孫 璐 西 (Lusy Sun Hwang) 氏で、参加企業は 24 社、会費は 5,000 \$ と設定されている。</p> <p>当日、ILSI Japan が日本での活動として、『「東アジアの食品等の規格基準、分析方法等の調査と結果の共有化」報告書』を作成している等の、活動報告を行った。</p> <p>5) その他</p> <p>山口事務局長より、「『「東アジアの食品等の規格基準、分析方法等の調査と結果の共有化」報告書』(Ⅳ) が完成し、農林水産省に提出した。当機構ホームページにも掲載しているので活用して下さい」との報告があった。同時に、本年度も申請しており、台湾も含めた新規 5 か国についての調査を継続する予定となっている。</p>
9, 10 月	
11, 12 月	<p>平成 25 年度第 3 回理事会が平成 25 年 12 月 25 日 (水) 午後 5 時より ILSI Japan 会議室にて開催された。</p> <p>1. 審議事項</p> <p>「第 7 回栄養とエイジング国際会議」の開催について</p> <p>山口事務局長が提案した。</p> <p>審議の結果「第 7 回栄養とエイジング国際会議」は秋に開催するという方向で検討し次回理事会で再度審議する。</p> <p>2. 討議事項</p> <p>山口事務局長が 2014 年度活動方針 (昨年度の継続) について説明し 討議した。概要は</p>

<p>以下の通り。</p> <p>(1) 活動戦略を策定・・基軸に基づき研究部会活動、国際会議を計画し活動を推進している。</p> <p>(2) 科学諮問委員会・・栄養とエイジング国際会議のプログラム委員会メンバーとして実務を開始している。</p> <p>(3) 国立研究所との連携・・国立研究所とセミナーの共催、情報交換の場を設定している。</p> <p>(4) 他支部との連携・・東アジアプロジェクト、BeSeTo 会議等を通じて順調に推進している。</p> <p>(5) 情報発信・・担当者の加入、発信活動の充実に向けた提案を行い情報発信の充実を図っている。次の機会に具体案を担当者から提案させる。</p> <p>3. 報告事項</p> <p>山口事務局長より以下の案件を説明した。</p> <p>○2014 年 ILSI Japan 支部総会の議事事項（案）</p> <p>平成 25 年度事業活動報告書(案)、平成 26 年度事業活動計画書(案)を検討して次回理事会に意見を伺いたい。</p> <p>○第 8 回 ILSI Japan ライフサイエンスシンポジウム プログラム（案）について説明した。</p> <p>日時: 2014 年 2 月 20 日 13:00～17:45</p> <p>場所: アーバンネット神田カンファレンス（定員：96 名）</p> <p>○ILSI 本部総会について</p> <p>ILSI 本部総会が 2014 年 1 月 17～22 日バミューダで開催される。</p> <p>○東京大学 ILSI Japan 寄付講座「機能性食品ゲノミクス」第Ⅲ期については 22 社の参加を得て継続することになった。</p>
---